

2022年度活動報告書

◆研究会の活動の到達点と課題

金澤町家研究会は2005年6月に任意団体として、金沢市における歴史的建築物（金澤町家）の継承と活用を支援する諸活動をスタートし、2008年2月よりNPO法人として活動している。したがって概ね18年間活動して来たことになる。

その間、金沢市から委託されて実施した各種の調査事業を行い、その成果を市施策に生かしてもらっている。また、文化庁より調査研究事業の委託を3箇年度にわたり受け、歴史的建築物の空き家について所有者調査や建築設計士、改修工事業者へのインタビュー調査などにもとづいて、実態と問題の整理、自治体施策への提言などを行った。その中で、建築基準法適用除外条例を制定することの必要性を提案し、それが契機となって2019年3月に市条例として制定された。

町家研として独自の事業も継続的に実施して来ている。「金澤町家巡遊」はその中で最も大きな取り組みで、毎年時機的なテーマを選び、対象地域を変えながら町家研以外のメンバーにも協力してもらい9月または10月に実施し、多くの市民に参加してもらっている。

また、フードピアは金沢商工会議所が1985年より毎年2月に実施して来たイベントであるが、町家研に協力依頼があり2015年より金澤町家を巡るツアーの実施とツアー後に金澤町家を活用した飲食店で会食をしている。

同様の事業として金沢市より委託を受け、金澤町家情

報館の活用の一環として「金澤町家塾」を2016年度より実施して来た。1回の講演と2回の金澤町家を巡るツアーを実施して来ている。

実際に金澤町家の流通や改修・活用に関わる事業として市より委託を受け、金澤町家流通コーディネート活動を2011年度を行って来た。町家研メンバーによる7名のコーディネーターが登録者のマッチングを進めるもので、これまで57件の実績がある。同様の形で市運営の金澤町家情報バンクの業務の担当も行っている。こちらは金澤町家の空き家情報をサイト上に公開するもので、条件の良いものは短期間で流通している。

以上のように、町家研の存在と諸活動は金澤町家の流通、改修、活用などに大きく貢献していると思われる。その団体としての性格は、大学教員が多いこともあり、各種の調査事業やそれにもとづく比較的充実した提言などがなされていることではないかと自負している。

ただし、依然として取り壊されてしまう金澤町家が多く、より直接的に金澤町家の改修や活用に関わる方策の追究が必要であると思っている。（川上光彦）



幹事会 2015年6月

◆活動の概要

2022年度の最も大きな事業は、市委託の金澤町家外観悉皆調査であった。その他、金澤町家情報館での「金澤町家塾」の企画・実施、また、フードピア金沢「金澤町家周遊ツアー」の企画・実施を活発に行った。

毎年趣向を変えながら継続的に行われている「金澤町家巡遊」は15回目で小立野地区を対象に実施、「優良金澤町家」の選定と認定は13回目を数え、当初の目標150軒に達したことから今回の選定で最後とした。

2011年度から2カ年度で行った「金澤町家流通コーディネート事業」を継承する事業として、2013年度以降、市からの委託事業による「金澤町家流通・コンサルティング事業」も実施し、事業開始から12年度目を迎え、流通部会及び定例会議を毎月開催していく中でノウハウが蓄積され、着実に成果を残すことが出来た。事業を遂行するため、金沢市担当者とは毎月1回定例の打合せ会議を行

い、担当の流通コーディネーターの会議として流通部会も毎月1回行い、連絡調整を密接に行いながら進めた。

本年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会議はWeb会議ツール「Zoom」を利用し、オンラインも活用したイベントを実施するなど、金澤町家の情報発信に取り組んだ。

金澤町家会員会議は2箇月に1回開催し、令和4年度定例総会は6月18日（土）に彦三町家にて理事長・理事等の4名の出席とテレビ会議システムも利用して開会し、会員には書類を郵送し、委任状および書面議決書にもとづいて議案審議を行った。



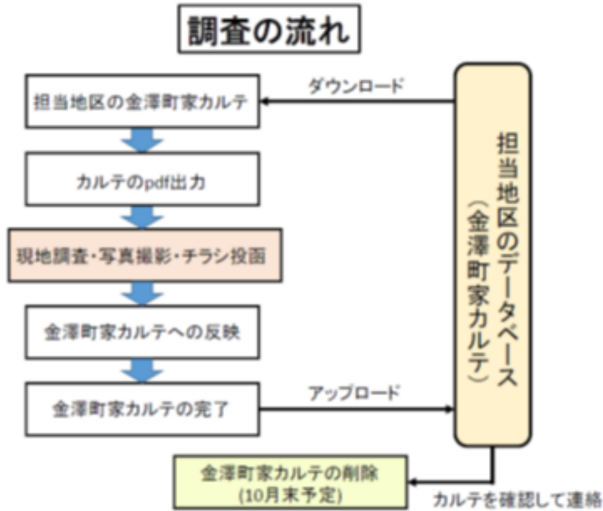
彦三町家のお雛様

◆金澤町家外観悉皆調査

金澤町家の外観悉皆調査は2008年から実施しているが、今回は2017年調査から5年を経過することから、それからの変化を中心に調査した。

調査員は、町家研会員で建築士や大学教員など、および、会員外の建築士で金澤町家の改修設計の経験のある方などとするとし、調査員は計33名+1団体(市歴史都市推進課)である。

調査は下記のフロー図に示すように実施した。



金沢市はクラウド上に金澤町家のデータベース(DB)を構築しているが、調査時にアクセスするにはiOS搭載のiPhone等が必要であり、ソフトのライセンス数が限られ、通信料も発生することから、今回は4名の調査員のみ利

用し、その他の調査員は担当するデータをpdfで配信し、調査結果をPCで整理して送信してもらうことにした。

調査を実施した結果、2022年現存数は5,800件(2017年6,293件)であり、493件が滅失し、年平均98.6件で、依然として年約百件が滅失している。また、空き家率は17.5%である。建物用途として、住宅専用は72.6%、商業専用及び商住併用は合わせて22.0%であった。

区域別の現存数は、中心市街区域5,315件、金石・大野区域392軒、旧北国街道森本・花園区域40件、湯涌区域7軒、二俣・田島区域50軒であった。また、減少数は、中心市街区域435件、金石・大野区域43軒、旧北国街道森本・花園区域11件、湯涌区域1軒、二俣・田島区域3軒であった。



調査票(左)と記入方法(右)

◆金澤町家巡遊・・・ひと・わざ・暮らしの金澤町家展

15回目となる今年度の金澤町家巡遊は、新型コロナウイルスの感染状況が比較的落ち着いた10月15日(土)、16日(日)の2日間の日程で開催した。

今回は、昨年の「野町・寺町 発酵街道」に続く街道シリーズで、石川県立図書館や金沢美術工芸大学の移転で注目される小立野界隈の旧湯涌街道沿いをメインエリアとした。「坂の上街道」と題して、旧中谷建具店の作業場を拠点に、美大生の作品保管庫として利用されている町家の拝見や、知られざる小道や坂道などを巡るツアーなど、まち歩きを楽しめる企画内容とし、町家にお住まいの方や活用されている方々の協力も得て、イベントやツアーを行った。



【各サイト等(詳細は下記参照)】

- YouTubeチャンネル : <https://www.youtube.com/channel/UCvdcDwkR8t7Q1Rb0xIPIAfw>
- ホームページURL : <http://kanazawa-machiya.net/mj/>
- ブログURL : <http://kanazawa-machiya.net/mj/now/>
- Twitter @kanazawa_mj
- Instagram @kanazawa_machiya_j





◆金澤町家流通コーディネーター事業

本事業は、金澤町家の所有者（オーナー）と購入・借家希望者（ユーザー）に対して必要な情報発信や助言を行うとともに相互の調整を図り、金澤町家の流通を促進する総合窓口サービス事業で、当研究会が平成23（2011）年7月以降、金沢市より受託し行っている。当研究会に設けた流通部会に所属するメンバー8名がコーディネーターとして活動し、また、平成28（2016）年11月からは「金澤町家情報館」に専任スタッフが常駐し、本事業のほか、金沢市の町家施策に関わる各種事業の相談対応及び同施設内の案内・見学対応の支援を行っている。

圏などから金沢への移住を検討されており、コロナ禍における地方移住が継続して注目されているように感じた。

2022年度中にマッチング（売買または賃貸成立）したものは2件で、金澤町家流通コーディネーター事業開始から2022年度末現在、成約件数は累計57件となった。マッチングの内容は、2件ともに住居として今後活用される予定。



金澤町家流通コーディネーター事業の概念図



金澤町家情報館（茨木町）

b. 金澤町家情報バンク

金澤町家情報バンクは、町家の流通促進を図るための情報サイトで、金沢市が平成17（2005）年より管理・運営を行っている。金澤町家流通コーディネーター事業の開始とともに、当研究会が登録受付の窓口となり、掲載情報の作成業務を行っている。2022年度中には12件の掲載を行った。

URL <https://bank.kanazawa-machiyajouho.jp/>



a. 登録件数、マッチング

2022年度のオーナー登録数は6件あり、「金澤町家情報バンク」（後述）での情報公開についても意向を聞き、公開に了承されるオーナーには積極的に「金澤町家情報バンク」を利用することを勧めた。ユーザー登録者は12件で、年齢構成は30代・40代が最も多く、登録者の半数以上が県外からの登録であることも特徴的であった。リモートワークが可能な方や、老後の生活の場として首都



金澤町家情報バンクトップページ



新着物件例

◆優良金澤町家

優良金澤町家認定式は11月19日（土）14時より、彦三町家を会場に行った。

自薦または他薦応募の6軒の金澤町家を認定し、2010年の認定開始から、これまでに認定した町家は151軒となった。認定式には、所有者4組が出席し、直接認定証をお渡しした後、スライドを用いて改修の際にこだわったポイントや現在の活用の様子などについてご紹介いただいた。

なお、優良金澤町家認定については、当初制作したプレート数に達したこと、2020年度より金沢市による「特定金澤町家登録制度」も始まったため、今年度をもって終了とする。

優良金澤町家認定プレート



【優良金澤町家紹介 小立野3丁目・工房】

本町家は小立野の旧街道沿いに明治初期頃までに建てられた低町家で元印刷所として使われていた町家を漆芸・美術作家の工房として再生した。側面は下見板張りとし、工房は梁組の見える吹き抜けにするなどして快適な空間をつくりだしている。

【「金澤町家-改修と活用-」】

NPO法人金澤町家研究会の活動15周年を記念するものとして、2021年6月に発刊した。

書籍は、彦三町家（事務局）、ホームページからの注文のほか、うつのみや金沢香林坊店、オヨヨ書林せせらぎ通り店、あうん堂、豆月、金沢大学生協書店、オトメの金沢 陳列室、ギャラリー日色、谷口吉郎・吉生記念金沢建築館、金沢21世紀美術館ミュージアムショップでもお取り扱いいただいている。（2023年5月現在）

オールカラー50軒の金澤町家の活用事例を紹介しており、改修・活用の支援の仕組みについても詳しく説明しているので、歴史的建造物の利活用をお考えの方、建築好きの方は必読の一冊。豆知識コラムも充実。



NPO 法人金澤町家研究会 編・発行
写真多数・フルカラー、
B5判・178頁
2021年6月発刊
定価2,200円
（税抜 2,000円）



◆金澤町家塾

金澤町家について市民に対して一層の広報を行うため、2016年度以降、毎年「金澤町家塾事業」を市より受託して実施している。金澤町家情報館の利活用も兼ね、同情報館を拠点として開催した。昨年度に引き続き、金澤町家情報館での参加とオンライン配信のハイブリッド方式で開催した。

金澤町家を学ぶ講座では、金澤町家を拠点に地域の魅力発信や体験型観光の企画など町家活王者である山田滋彦氏に「金澤町家を次世代へ」と題した講演をしていただき、金澤町家情報館での参加は若干名を受け入れ、講座の様子をオンライン配信した。

また、金澤町家探訪は、小立野界隈・堀川界隈エリアを事前に収録した探訪ツアーの様子を上映し、途中のポイントで映像を止めてガイドの補足解説を行った。こちらも金澤町家情報館での視聴は若干名を受け入れ、その様子をオンライン配信した。

a. 金澤町家を学ぶ

講演題：「金澤町家を次世代へ」

令和5年3月4日（土）10時～11時30分

講師：山田 滋彦（株式会社こはく 代表）

概要：金澤町家に関わる人・コミュニティとの出会いから金澤町家の活用に関わる事となった背景を「町家×観光」・「町家×教育」・「町家×コロナ禍」の活用事例より紹介。金澤町家の活用を促進するための課題について考えた。

現地参加8名、オンライン参加5名



b. 金澤町家探訪

担当：解説・ガイド 増田 達男（金沢工業大学名誉教授）
内容概要：金沢の知られざる町並みを専門家の案内で探訪する。

1 「小立野界隈・天空迷路の歴史探訪」

ルート：飛梅町～石引～小立野（旧湯涌街道）～天徳院
令和4年11月12日（土）午前10時～11時半
現地参加：5名、オンライン参加3名

2 「堀川町界隈・駅前に残る歴史の別世界」

ルート：本町～堀川町～笠市町～瓢箪町
令和5年3月18日（土）午前10時～11時半
現地参加9名、オンライン参加7名



上記はスクリーンショット

◆フードピア・金澤町家周遊ツアー

フードピア開催委員会より「フードピア金沢2023」の「金澤町家”食”めぐり」について実施への協力依頼があり、昨年度に引き続き、積極的に協力することにした。

金澤町家周遊ツアー以下のように実施した。

・ツアーは午前10時半頃より12時頃までとし、最後に会食するまたはお弁当をお渡しする。

・担当は、担当者と補佐の二人とする。担当者は、ツアーの企画と実施時の案内、資料の作成を行い、補佐は、ツアー実施時の案内補助などを行う。

・説明や町家の収容、および、あまり密にならないことを考慮して、定員は10名とする。

・各ツアーで、ツアー内容の資料を作成する。

【ツアー概要】

(1) 材木町界隈ツアー「多様な活用事例と魅力」

月日：2月4日（土）

集合場所 大樋美術館前

コース 大樋美術館前→越村邸→ディキシット邸→横

山町の町家→かなざわ玉泉邸など

みどころ 金澤町家（町家、武士系住宅、近代和風）を巡り、歴史的価値を高める多様な活用事例を拝見し、魅力を体験します。

食 事 かなざわ玉泉邸

案 内 坂本英之（金沢美術工芸大学名誉教授）、
金澤町家研究会事務局

参加者 7名



(2) 金沢駅界限ツアー「広がる活用と町家の姿」

月日 2月11日（土・祝）

集合場所 リファーレ・中央ホール

コース リファーレ→別院通り→（永野屋商店）→アートショップ月映→（網善商店）→笠市101・AngoloCAFFE他→本願寺西別院→金沢表参道→Nigiwai Space 新保屋→コラボン→菜喰 安心院

みどころ 新幹線延伸へと金沢駅から武蔵ヶ辻へ、商業利用とともに様々な形で利活用されている金澤町家を巡ります。

食 事 菜喰 安心院

案 内 北出健展（ジェル・アーキテクツ）
橋本浩司（橋本建築造園設計）

参加者 9名



(3) 東山・観音町界限ツアー「伝統的まちなみ・活用・暮らし」

月日 2月18日（土）

集合場所 浅野川大橋交番前集合

コース ひがし茶屋街→藤とし→木町三番丁通り→喫茶グライダー→インスパイス→観音町通り→くろねこカフェ→ひがしやまちょう吉

みどころ 観光で賑わう国指定保存地区の商店や住まいを訪ね、賑わいと暮らしが両立する伝統の町を体感しま

す。

お弁当 ひがしやまちょう吉

案 内 林 正人（林建築設計工房）
奥村久美子（奥村設計室）

参加者 8名



(4) 長町・香林坊界限ツアー「武家屋敷・町家の活用事例」

月日 2月25日（土）

集合場所 金沢市老舗記念館前

コース 長町研修館（匠心庵）→町家活用事例→工房ひよんの木→足軽資料館

みどころ 都心に残る貴重な武士系の建物や町家を訪ね、活用の工夫や暮らしを拝見し、城下町の風情を体感します。

お弁当 四季のテーブル

案 内 円満隆平（金沢工業大学客員教授）
金澤町家研究会事務局

参加者 9名



(5) 柿木畠・水溜町界限ツアー「都心に眠る城下町風情」

月日 2月26日（日）

集合場所 金沢市役所第二庁舎の第一庁舎側玄関ロビー

コース 金沢市役所第二庁舎→石川県知事公舎→上柿木畠→茨木町金澤町家情報館→新堅町→水溜町こまちなみ保存地区→ビストロユイガ

みどころ 藩的場跡（知事公舎）、上柿木畠のアズマダチ風武士系住宅、新堅町のまち並み、武士系のこまちなみ保存地区などを巡ります。

お弁当 ビストロユイガ

案 内 増田達男（金沢工業大学名誉教授）
金澤町家研究会事務局

参加者 8名



◆一般社団法人 金澤町家活用推進機構

これまでの活動を継承し、笠市町K邸、東山H邸、尾張町M邸、兼六町S邸の活用の支援を行った。

K邸については、2020年に2階の宿泊も開始し、引き続き、維持管理の支援を行った。

H邸については、サブリース事業として所有者より借り受け飲食店に2021年4月より貸し出した。

M邸については飲食店として活用されており、維持管理の支援を行っている。

S邸は2021年4月より写真スタジオとして活用されて、維持管理を支援している。



笠市町K邸

◆LLP金澤町家

まず、町家相談業務として、昨年度の相談件数は5件で件数はやや減少傾向にある。年度別の相談件数と工事についてまとめたのが下表である。

表 各年度の相談件数と相談後の実績

年	相談件数	工事完了	その他
平成 20年	3	3	0
21年	3	0	3
22年	12	6	1
23年	5	5	0
24年	4	1	3
25年	21	5	16
26年	10	3	7
27年	12	3	9
28年	13	3	10
29年	9	3	6
30年	13	2	11
令和 元年	11	0	11
2年	11	0	11
3年	8	0	8
4年	5	0	5
合計	140	34	106

金沢市文化財保護課より委託を受け、組合に所属する建築士の協力を得て調査業務を行った。

委託業務名：国登録有形文化財候補調査業務

委託期間：令和4年9月16日～令和5年3月31日

所在地及び建物名：金沢市小立野2丁目 石川邸

建築年：昭和4年建築

構造・特徴等：木造2階建て、赤瓦の棧瓦葺き。

土塁の塀、表門が一部残る。

外観正面及び応接間を洋風とし、他の大半は和風形式を残した和洋折衷住宅。



◆金澤町家学生会議

昨年度は主に町家箱イベントの開催と町家巡遊を行いました。

町家箱イベントでは、右写真のように、子供たちが町家のペーパークラフトを楽しみました。金沢美術工芸大学の学生が作ってくれた土台にみんなが作った町家を並べて、世界にたった一つの街が出来ました。

町家巡遊では、2021年度に行った巡遊のルートを、学生会議メンバーで回りました。今川酢造さんや神那堂さんは、アポなしにもかかわらず、お店のことや、町家のことを丁寧に説明してくださいました。住民の皆さんも挨拶を返してください、暖かい雰囲気です巡遊を無事終える

ことができました。今年度も、町家のさらなる継承・活用に向けてメンバー共々、活動に専念していく次第です。



◆乙女の金沢 春らら市 2023

桜の見頃にあわせて、しいのき緑地と本多の森公園の2会場で、毎年開催される春のイベント「乙女の金沢春らら市2023」に、今年も4月8日（土）と9日（日）の両日、NPO法人金澤町家研究会として出店参加した。

来店者には、金澤町家研究会パンフ、ショップマップ（野町・寺町編）ほか金澤町家に関する資料等を配布し、金澤町家をみなさんに更に関心をもって知っていただくよい機会となった。また例年同様、町家箱キット、金沢くろ瓦マスキングテープ、ポストカード、書籍等も販売した。

今年は、3年ぶりに町家箱ワークショップを取り入れた出店となり、しいのき緑地の大会場とした。少し肌寒さを感じる天候ではあったが、海外からの旅行者を含め多くの人出、来訪者となった。とくにワークショップでの子供の参加が多数あり、金澤町家学生会議のメン

バーを中心にチームワークが発揮された。ご協力いただいたみなさま、お疲れさまでした。



◆2022年度定期総会

定期総会は新型コロナウイルス感染予防のため書面による表決とし、代表および理事、監事4名が出席し開会。会員には事前に議案内容を記載した書類と委任状または書面議決書の返信用ハガキを同封して郵送し、送付されてきた委任状および書面議決書にもとづいて議案審議を行った。

賛成18名、反対0名

第3号議案 令和4年度事業計画案 賛成18名、反対0名

第4号議案 令和4年度収支予算計画 賛成18名、反対0名

結果 すべての議案について、満場異議なく議案のとおり可決された。

開催期日：令和4年6月18日（土）14：00～14：30

開催場所：金澤町家研究会「彦三町家」

総会書面議決の結果

正会員総数：32名 本人出席4名、テレビ会議システムによる参加1名、委任状による出席10名、書面による表決3名
定款第27条の定足数の規定（議決権総数の2分の1以上）を満たしているため、本総会は有効に成立した。

議案

第1号議案 令和3年度事業報告 賛成18名、反対0名

第2号議案 令和3年度収支報告および監査報告について



◆町家の日 2023

3月8日を「町家の日」とする動きが、京都発により各地で進められ、金沢でも町家の日Week（3月4日（土）～3月12日（日））に金澤町家での催しを町家ショップなどから募集し、町家の日ホームページやSNSを活用し情報発信を行った。

金沢での催しは、以下のとおり

- ・金澤町家塾 金澤町家を学ぶ「金澤町家を次世代へ」
3/4（土）会場：金澤町家情報館
- ・町家でアクセサリ体験イヤリングorピアス
3/4日（土）、5日（日）、12日（日）
会場：ギャラリー&ショップ cuore mariko
- ・金沢湯涌江戸村 雛飾り
2/11（土祝）～3/12（日）
会場：金沢湯涌江戸村
- ・多種多葉 三崎大地 モバイル展&ワークショップ
3/4（土）～12（日） 会場：よふ葉
- ・語りと舞による「夜咄」よばなし
3/4（土） 会場：和の時空 町屋塾
- ・金澤町家のおひなさま
2/3（金）～4/3（月）

※店舗により展示時期は異なる
会場：岩本清商店、コラボン、多華味屋、
金澤町家情報館、ギャラリー&カフェ 椋、
大正浪漫喫茶金魚庵、豆月

また、【町家をおもしろく】をテーマにした川柳の募集について、金澤町家研究会もその選考に参加した。全国からの応募があり、町家の日実行委員会で約100句に絞り、金澤町家研究会有志により3つの候補を選句し、最終的に1句が金澤町家研究会賞となった。

町家の日ホームページURL：<https://machiyanohi.jp/>



第3回「町家川柳」受賞作品

- ・文豪賞 おーいお茶 返事あるのは 隣家から 作：あざみのかかし
この家の 歴史と私が 刻む今 作：市川京
- ・おくどさん賞（金澤町家研究会賞） 隣家から 香る匂いで メニュー決め 作：なつなし

◆広報・交流活動

・日本維新の会神戸市議員団 8名
2022年12月10日（土）に日本維新の会神戸市議員団8名
来訪。北出健展幹

事により、東山「豆月」にて金澤町家の改修・活用・流通に関するレクチャー、ひがし茶屋街のまちなみや界隈の町家の活用事例を案内した。



番組詳細URL

<https://www.tvkanazawa.co.jp/program/kanazawaquiz/>

■金沢市広報番組

【金沢の宝物】金澤町家に住まう
～歴史的景観の保全と活用～

金沢市広報番組の製作に橋本浩司幹事と北出健展幹事が出演協力しました。

金沢市公式YouTubeより

<https://www.youtube.com/watch?v=KUY79hUA14Q>

■テレビ金沢「まいどさんの金沢クイズ」

テレビ金沢「まいどさんの金沢クイズ」に協力しました。金沢の歴史や文化など金沢ボランティアガイド“まいどさん”とクイズ形式で紹介する番組で、増田達男先生（金沢工業大学名誉教授）より金澤町家に関する出題と解説をしました。

放送：令和5年1月21日（土）、2月4日（土）

いずれも 11時40分～5分間



町家 金澤

「2022年度活動報告書」

【編集・発行】NPO法人 金澤町家研究会

理事長 川上光彦

2023年6月

〒920-0854

金沢市安江町4番20号



NPO法人 金澤町家研究会

〒920-0854 金沢市安江町4番20号

Tel: 076-254-0647 / Fax: 076-254-0657

E-mail: kanazawa-machiya@nifty.com

<http://kanazawa-machiya.net>

専用駐車場はありませんので、公共交通をご利用いただくか、車でお越しの場合、近隣のコインパーキングをご利用ください。

